

・越
後

・越
後

号9
47. 第

内通所房事市新潟県山岳協会
新学新潟生

ごあいさつ

五十嵐篤雄

豊かな山脈と経験を持ち、優れた才能で新潟県の岳人を指導され、こられた前協会長の室賀さんが此度、惜れながら退陣されました。指導研修会、検定会、国体予選会、山岳遭難救助指導者講習会その他種々の行事にエネルギーを活躍されてこられた室賀さんの後をお受けしたものの、私にとっては誠に容易ならぬものと役目の重さを深く痛感しております。幸い協会の仕事を分担してい人達の殆んどが長年山で苦楽を共に寝食を共にしてきた気心の知れた山仲間です。特にこのたび理事長に就任した杉原八百樹さんは、少年時代からの友人です。諸先輩はじめ、皆さんの御協力を仰ぎ、協会の運営を計りて行きたいた存です。

協会の業務は事務連絡が一番早く、適確に処理しています。これを迅速、適確に処理してゆくことが決なのですが、簡単なようでもつかないことだと、今更のように感じおり、理事長と同じく取り組む覚悟であります。

新潟県は四季を通じて、たのしめる山、それぞれ特色のある山、地域だと思います。そこに郷土の山を愛し、開拓しながら育つた、各山岳会の特色は貴重なものであります。その伝統を基盤に、越後人らしい底力でこれから登山界を推進してゆけるものと信します。当面の問題も山積しております。箇条書きに記してみますと。

▲登山指導員

最近、登山人口の激増は皆さんご存じのところですが、当然モラルの低下、そして山の事故、自然破壊が心配されます。登山は他のスポーツと異り、目的、行動等が千差万別で相手が山である以上、一般登山者の指導は至難ですが、文部省、日山協は登山指導員に大きい期待をかけております。

登山指導員規則第二条に指導員

登山は非常に範囲が広く、山へ登る人達の目的もそれぞれ異つてゐるのではないかと思います。只登る技術が優れているだけで優秀な登山者と決める訳にはゆきません。ましてこれを競技視し、点数制にすることに至つては世界に数のない国体登山という特殊な登山と云わざるを得ません。

しかし立派な登山者であればどんな登山でも順能できる筈ですが、その立派な登山者を育てるのが新山協の責務です。

ながいあいだ行なつてきている国体予選会のシステムは他に類もない優れたものだと思います。

それが証拠に国体では何時も優秀な結果を挙げてきました。

この訓練、並に講習会は各地区の救助隊員は勿論のこと、出来得るだけ多くの人達に参加していましたが、何時でも遭難救助に対応できる知識と技術を身につけて、県内の山岳遭難救助に万全の体制を固めたいものです。

▲自然保護

直接、私達と関係がないように思われがちですが、山を愛し自然を愛し続けている私達が一番その弊害を知っているのではないかと思ひます。

小さくは心ない登山者による植え込みや、登山の運営を計りて行きたいた存です。

新山協では国体予選会を単なる技術と道徳の向上によつて登山の興隆発展につとめなければならぬことがあります。

これは指導員の理想を示したも

ので、一般登山者の指導は、むづかしいところですが、これは未組織の登山者を組織に迎えることで解決してゆけるものと思います。それぞれ自分の仕事を持つてのことで行事の参加は大変でしようが指導員である以上、研修会は勿論協会の行事には積極的に参加し、調和、融和の精神面等も含めた向上を計りたいものです。

▲山岳遭難救助指導者講習会の対策と心構えについては、今更述べるまでもありません。各団体では積極的な姿勢で取組んできておりますが、残念ながら山の事故が絶えないのが現状です。自分達の事故は自分達の手でも結構ですが、遭難事故発生に当つては迅速且つ適切で、しかも安全な救助体制が要求されます。

当協会でも山岳遭難救助隊が四地区に組織されており隊員名簿もできている筈です。この隊員を中心不断地救助体制と訓練の必要性があります。

山岳遭難救助指導者講習会は室賀前会長の大変な、お骨折で湯之谷、湯沢と2年続けて参りましたが、越後特有のドカ雪等で計画通りに運ばれなかつた点もありましたが、軌道に乗りはじめたこの行動を更に押し進めてゆかねばなりません。

同じような問題が何時、何処で火の手があがるか判りません。

遅れにならないようお互に情報の

チャッチが必要になつてきます。

差し当つて佐渡山岳会に協力し

て「自然を守る会」を成功させたいものと思つております。

登山に遠征する風潮が現われてきました。

新山協が海外登山研究会をつづつから3年になります。もうそろそろ鎌首をもちあげてもよい頃ではないかと思ひますが、腰の重いのが越後人の特性といわれていますが少し重過ぎるようです。

ここいらでシッカリした土台を造り具体的な活動に入る時期ではないかと思ひます。

皆さんの力を結集して実現させねばなりません。

中堅会員の立場

佐藤一栄

県山岳協会に加盟している団体には、創立十年以上あるいは二十年以上の伝統を持つ山岳会が少くない。そして、それらの会はいずれもバイオニアワーカーの実績を誇り、本県の登山界に貢献してきた。近年になって加盟し、意欲的な活動を行なつてゐる幾つかの新進気鋭の山岳会も、やがては歳月の重みを加えて、風格のあるグループに成長してゆくであろう。それぞれの会の、志向と環境を作り上げた独特的の氣風は、次々と入会してくる新人によつて受け継がれ、洗練された幅と深みを備えて、立派な業績を生み出す基盤となつてゆく。山岳会に限らず、総合の集合体は、伝統という勝れた遺産を、どのような形で保持し、活用してゆくかが、衰弱の岐路になると言えるのではないか。

伝統に磨きをかけ、実績を上乗せしてゆける力倅の会長と、それを熱心に補佐し、次代を担う新人の養成を真剣に心掛ける中堅幹部がいたら、その会は魅力的な存在となり、着実に発展してゆくに違いない。

しかし、山岳会の運営は、常に好調とはいえない。名門といわれる会の中にも、精彩に乏しく、沈滯気味と思われるものが見受けられないでもない。理由は幾つか有

員の活動力の低下が考えられる。若い頃は情熱と体力に委せて登山一筋に打めるが、家庭を持ち仕事に追われる年代になつて、心ならずも山から遠ざかる人が出てくる。会に籍は置いても、現役を離れて浮き上がる存在になつてしまふ人もいる。

それぞれ事情はあらうが、長年山で苦労を共にし、これからと期待された人が、低迷脱落してゆくのは寂しいことであり、会のためにも惜しい。

中堅会員とは、会長の指示を受けて、会の実務を掌握する立場の人と言えよう。新人を直接に指導育成する人であり、先輩と後輩の中間にあつて、会の結束を図り、充実発展の推進力となる人でもあります。実力を身につけ、人間的にも完成されつある、働き盛りの人識を持ち、逞しい行動力を山に向けてくれたら、後進には心強いリーダーとなり、会にとつても掛け替えのない人となろう。

中堅会員である、またありたいと励む人々に、特に願いする。

一、会とともに歩み、修得した知識や技術を、後輩に引継ぐ義務があると自覚してほしいこと。

岳と上越地区各山岳会のお骨折を

一、新人と共に苦労することを厭わず、楽しさを見出すことを努めてもらいたいこと。

一、登山で得た教訓、知識、体験、交友などを、日常生活に生かして行つてほしいこと。

の場合は決定的な結論に達していない。いつの時代でも云得ることはない。利用者の自覚の問題である。

いつも考へていることだが、地域によつて異なるけれども、この種小屋は多目的に使われると予想外に寿命のあるのも、皆んなが「便利だ、重宝だ」と思えばこそいつ尚更のことである。

小屋は多目的に使われると予想外に寿命のあるのも、皆んなが「便利だ、重宝だ」と思えばこそいつ尚更のことである。

岳と上越地区各山岳会のお骨折をいただき十月十六日～十七日妙高山系火打山で、参加者八三名の盛大な親睦登山がおこなわれた。

今年度の会場は相当の直江津山の外始めての人が多いようだつた。

予想外に下越方面から多勢の参加があつたことは主催者をよろこびます。妙高山は何回も登つていて人が多いと思うが火打山となると案

意を仇にしないよう御指導願い、そしてその期待に応えたいもので

す。

親睦登山 井口正男

岳と上越地区各山岳会のお骨折を

初秋の九月五日角田山山頂の小屋開きに参會した。折からの小雨降りしきる中での行事であつたが地元の人々も多数参加して大変盛況なものであつた。

卷ハイキングクラブの熱意と執念でできたこの小屋は三角屋根のシックカリした立派なものであり、しかも卷町長が命名したという「健養亭」もまたこの小屋にふさわしい。

卷ハイキングクラブ会長の挨拶並に経過報告、来賓として卷町長をはじめ、多くの祝辭がのがべられた。小学生も来賓の一員として県山健康体育につなげて行政の一環に基づいて工事は着々と進行している。山麓は柿畠として町の経済につなげ、上部は園地として町保有する。椿谷園地、櫻谷園地等は既に整地されている。観音堂も長既に整地されている。観音堂も長者原の一割に八分通りできていて観光に信仰に威力を發揮することであろう。

山頂には山小屋、その名も健養亭と全たく長者園地にピタリである。しかもこの山小屋には鍵はない、「いつでも誰れでもご利用下さい」とハイキングクラブの会長は云い切つてゐる。この会長全く憎い奴……。

さて皆さん、こんな管理の山小屋ははじめてでしょう。どうか利用者が各自責任をもつて管理し運営し、折角の会長の好くろしく。

理事長杉原八百樹氏は今迄体育馆に勤務しておりましたが、四月一日から新発田市教育委員会、学校教育課に勤務することになりました。連絡その他の場合はTEL(2)三一〇一番内線四一〇番ですよろしく。

荒れない山小屋、これは山小屋を持つてゐるものとの通話した悩みであり、今でも真剣に考えられている問題である。特に無人小屋

一、所属する会や、寝食を共にした山仲間に、愛情を持ち続けてほしこと。

岳と上越地区各山岳会のお骨折を

高波吾策氏の逝去について

室賀輝男

高岳院良道吾策居士、昭和四十六年三月四日午後八時四十五分長岡市神谷病院で脳梗死により、忽然として逝つた、ひげさんこと高波吾策氏の戒名である。

満五十九才、谷川岳のひげさんとして小身の体軀と、あのユーモラスな童顔とも思われる顔をほころばせ、天依無辺のひげの親父として親しまれ、多くの岳人を指導し、県山協のよき先輩であつた。山に志すものは山に工夫せよ、と常に登山の先頭にたち、又自費で登山道の開発もされた。こよなく山を愛し行く先き先きに酒あり唄ありの陽気な山男であつた。そのひげさんが「今息を引取りました。きて下さい」と奥様から電話をうけた。午後八時五十分である。遅い夕食をとつてゐる最中であった。

夕方、会の事務所で入院を知り明日手術の輸血を貰いたいの伝言を受け、途中病院へ立寄らうと思いつつ輸血のメンバーの選定を急ぎそのまま帰宅した。

生きて再び逢わなかつたとは残念の極みである。しかしそめて最愛の輝子夫人にみとられての大往生をとげた事が不幸中の幸であつた。会員に緊急連絡をとり、取敢ず病院にかけつけた。

翌朝六時、自動車で土樽に向う。二月中は全く雪のない春日和が続いた気候もこの夜半から雪となり朝から猛吹雪となつた。国道十七号線はいつぱいの雪で六日町、湯沢では一寸先も見えない豪雪でときどき側壁に突込みながら平時の三倍の十時過ぎに漸く湯沢町に到着、役場で死亡届けをするが全たく信用してくれない。さわぎになる。

中里から先は自動車が通じないので役場より雪上車二台借用し、地元山岳会員の力を借り土樽に向う。雪上車の偉力は絶大なものであつた。常に陣頭にたつて山の遭難者の救助に当つたひげさんが、里に倒れ山男に山へ運ばれる運命とは皮肉なものである。

七軒八倒全員が雪だるまになつて毛渡沢までたどりつく。ここから胸までのラッセルが二時間続いて漸く山の家に帰る。

会員の手で葬式の手筈、通夜が當なまれ、六日に湯沢で密葬、八日湯沢町中央公民館で告別式が行なわれた。

当日第二回新潟県山岳遭難救助指導者講習会が開かれ二百名の参加者が折からの吹雪の中に訓練を受けた。

この催に、地元設営の一切をひ

院長がスキー仲間で何かと便宜を圖つてくれ、東泉閣主人の心づくしの生花も捧げられ悲しみのお通夜をやつた。

折からの豪雪で上越線はズタズタにダイヤが乱れ、乗り継ぎ、乗り継ぎをして集つた講習生二百名と各界の参列者三百名の中にはおごそかに進められ、チロル帽子にニコヤカなひげさんの写真に冥福を祈つた。

四百通に余る弔電は、ひげさんの幅広い交際を物語るのであつた。死亡の夜から三月八日につぶさに荒れた天気も翌日から回復に向つた。人よんで「ひげ荒れ」と、厳しい山に挑む山男の最後を飾るにふさわしい気候であつた。そしていつまでもこの吹雪と共にひげさんの死が記憶に残る三月であった。

岡田博文君の遭難について

季峰山岳会 望月 力

当会では山行に際して登山届を義務づけており、特に谷川岳の場合は登山届を一週間前に運営委員会に提出して、メンバー、コースを検討してから許可することになつております。この手続を経て九月四日各自の仕事を終えてから一ヶ月で出発しました。

ルートは谷川岳、一の倉二ルンゼ、本谷、中央稜、の三パートで予定しておりました。

翌朝（九月五日）八時五十分土合の登山指導センターより遭難の通報をうけました。

五時三十分出発、ソイタテ前沢の出合上流大滝、ヒヨングリの滝附近の雪渓上を、もしやと思ひ左岸寄りに二十メートルの間隔をあけ歩行中、前より三人目と四人目が十五メートル長さ二十メートル位の雪渓が二人を乗せたまま陥没、三人目プロックの上を滑り途中で停止、四人目は切れ目の中にプロックと共に落

下、大滝の滝壺にプロックの下敷となり押しこめられてしまいまし

た。後から続いていたペーテー（J E O C）ジャバーン、エキスパート、クライマークラブの根岸氏

等がザイル工作して雪渓の下に入りましたが、附近的雪渓よりプロツ

クの崩潰が続いており二重遭難の危険性があるので搜索を打切りま

した。落下と同時にプロックの下

敷となり即死と判断したのです。

三條市のため職場のクラブと両

通子さんが登山指導センターへ通

した。

報等の連絡に協力をいただきまし

た。第一報で会内の連絡、準備体

制を済せて私と会員一名家族三名は車で現地へ向いました。

家族には即死で遺体は雪渓の下になつているとは言い出せず、現場の状況を目にして駄目な事を判断してもらわないと無言で車を走らせました。家族を一の沢出合で陥没の見えるところまで案内して私とリーダーは現場まで登り指導センターの助言を参考に事後の対策を考えました。

陥没附近的プロック崩落がおち

ついたら沢心に入り雪渓を割つて

遺体の収容と、作業のできるのは四、五日後になると判断してリードと津上岩峰クラブの応援八名

中より二名出してもらい三名をセ

ンターに残し七日より交替にパト

ロールを送ることにし、ザイル、

救出器材等を置いて家族と一緒に引

上げました。

当夜より寒冷前線通過で二〇〇

ミリ近い豪雨で急速にプロックを

流し遺体も流れだされるかも知れないと判断し早朝パトロールし

た。正午頃一の沢出合の雪渓の割

れているところでザックの流出を

発見し、すぐに遺体流出の可能性ありとし、現地よりの連絡で搜索隊を増強、車で第一隊より第四隊

まで編成六日の夜土合に集結、津

上岩峰クラブの二十九名の応援で

計四十四名となりました。

一の沢より湯檜曾川砂防堤まで

六区に割り七日早朝搜索に入りました。

午前七時一の倉出合下流一キロメートルの右岸で遺体発見。検死等の手続きを終えて遺体を車に乗せ午後八時岡田君の宅へ到着。翌日の葬儀の準備等で一応捜索隊を開散しました。

翌八日葬儀で表面上の処理は終りましたが反省事項は多々あります。その一つは当日その雪渓上を八十名位のパーティーがテールリップジへと通過していたのが偶然当会のパーティーが陥没に会つたといつてしまえば運命論になりますが一本松の高巻きルートがあるのにとルートの選定が悔まれてなりません。春の（三月六日、七日）の異状雪でいつもなら滝がでているところなのです。登山指導センターでは毎日バトロールされておるのですから雪渓の状態は良くわかっています。

事前に危険な雪渓の歩行を禁止するとかの処置を講じて事故を未然に防止することに留意戴きたいと思います。

山はいつでも危険をふくんで我を待つているのが現状です。充分注意してこれで足りることはできません。

家族の悲しみを目の前にして遭難は絶対におこしてはならないと強く感じました。泣き崩れる遺族の悲痛な姿は、字で表現することはできない。

岩手国体

小野 健

岩手国体から既に一年も過ぎ、もうすぐ和歌山国体が迫っています。五頭山の予選会で県代表も選ばれ、今、最後の仕上げに余念のない選手関係者に心から声援を贈りたい。

大部さめかけた岩手国体を振り返ってみると、やはり強烈な印象は國体の雰囲気であった。実に素朴で暖かい岩手の人々の心と、きれいな自然に迎えられ、田圃の畔道から一人老母が雨の夕暮に一心に手を振っていたことも、民泊の紅いリンゴも、猛烈な駒が岳の噴火も昨日のことのよう鮮明である。國体のよさはその時その国で行なわれた数々の行事から得難いものと吸収することができることではなからうか。

國体は毎年日山協國体委員会で実施要項が作成され、その大綱を漸次変化しながら盛大に行なわれている。

近年は表彰制度も確立し、競技的性格を強めて行く傾向にある。採点する側からは好都合であろうが、登山はスピードのみを競うスポーツでないとすれば、やはり重き項目はあつても現在の七項目を基準にして採点は今後も続けられることと思う。

國体登山には毎年山が変り人が変り、全国の岳友が交流できるり

ラックスした祭典的雰囲気を内蔵している。厳しい競争の中にこそこうした一面が必要なのだ。

登山とは結局山を楽しみながら心身を鍛えるものとすれば一方に偏すことなく視野を拡大してゆくべきである。初步的な基本からスタートして巾広く発展させてゆくことが大切なのだ。

本来登山行為は人間と自然との調和から出発する。立派な登山者は行動の場を中心とした自然科学に精通し豊かな体験と技術を持った人間集団のバランスをみきわめ得る人間である。

國体登山もこうした人間形成の場となるには競技のみにこだわらず人間集団としてのまとまりを育成してゆく方向に進むべきである。これが他のスポーツと異なるところではなかろうか。

五頭山予選会では岩手国体の体験から優秀県になるための「國体登山の姿」と題とするレポートにて私見を述べましたので詳細は省略します。要は月並みの努力ではなくわれた数々の行事から得難いものと吸収することができることではなからうか。

五頭山予選会では岩手国体の実行なれた数々の行事から得難いものと吸収することができることではなからうか。

ところではなかろうか。

五頭山予選会では岩手国体の実行なれた数々の行事から得難いものと吸収することができることではなからうか。

五頭山予選会では岩手国体の実行なれた数々の行事から得難いものと吸収することができることではなからうか。

歴を秘めて静かに鯛の尾頭付で歛待してくれた。

パーティの一員がこの骨を突

けで刺し痛と熱に耐えながら頑張つ

えたのも今にして想えくなつた。

開会式も無事終了、行動に移

る。昨年までは一般と高校は同一

行動であつたが今回は登山口下山

口を別にし山中で交叉する行動日程が組まれている。高校の幕営地

は大荒川右岸の台地、一般的の幕営地

は大日原、パーティは各幕営地

に向い到了着後設営をする。

この設営から採点の対象になる

ので真剣だ。設営終了直ちにペー

バーテスト、出題は一般的な登山

文化財の貴重なものであつた。

開会式のはなやかなスタイルと

は対象的な田園風物に接し、九州

の果てから北海道までの岳友との

談笑も貴重な収穫であつた。

新潟県の代表として激励し合つて共に歩いた今は亡き毛利輝司先

生の姿が岩手の山波に焼きついて

忘れ得ぬ、心から御宴福をお祈り

したい。

国体登山

井出秀雄

新潟県予選会

会場 五頭連峰菱ガ岳、五頭山
会期 五月三日～五月五日

会場地である五頭連峰は高さこそ一〇〇メートル未満の連山であるが、新潟地区の登山者にとってあるが新潟地区の登山者にとって

は春夏秋冬、親しみ深い山である。

地元笛神村、教育委員会、温

泉組合、山岳の支援をいただき、

準備が進められた。

五月三日開会式場である出湯小

学校には大きな歓迎アーチが掲げ

られ、村長、地元役員はじめ協会

長、理事長、JAC越後支部長の

姿も見られる。

一般十五パーティ、高校十二バーティ、役員、オーブン参加を加え総勢一四〇名になつた。

開会式も無事終了、行動に移

る。昨年までは一般と高校は同一

行動であつたが今回は登山口下山

口を別にし山中で交叉する行動日程が組まれている。高校の幕営地

は大荒川右岸の台地、一般的の幕営地

は大日原、パーティは各幕営地

に向い到了着後設営をする。

この設営から採点の対象になる

ので真剣だ。設営終了直ちにペー

バーテスト、出題は一般的な登山

文化財の貴重なものであつた。

開会式のはなやかなスタイルと

は対象的な田園風物に接し、九州

の果てから北海道までの岳友との

談笑も貴重な収穫であつた。

新潟県の代表として激励し合つて共に歩いた今は亡き毛利輝司先

生の姿が岩手の山波に焼きついて

忘れ得ぬ、心から御宴福をお祈り

したい。

この設営から採点の対象になるので真剣だ。設営終了直ちにペー

バーテスト、出題は一般的な登山

文化財の貴重なものであつた。

開会式のはなやかなスタイルと

は対象的な田園風物に接し、九州

の果てから北海道までの岳友との

談笑も貴重な収穫であつた。

新潟県の代表として激励し合つて共に歩いた今は亡き毛利輝司先

生の姿が岩手の山波に焼きついて

忘れ得ぬ、心から御宴福をお祈り

したい。

この設営から採点の対象になるので真剣だ。設営終了直ちにペー

バーテスト、出題は一般的な登山

文化財の貴重なものであつた。

開会式のはなやかなスタイルと

は対象的な田園風物に接し、九州

の果てから北海道までの岳友との

談笑も貴重な収穫であつた。

新潟県の代表として激励し合つて共に歩いた今は亡き毛利輝司先

生の姿が岩手の山波に焼きついて

忘れ得ぬ、心から御宴福をお祈り

したい。

状態である。との伝えてきた。

「すぐに下山、砂郷沢附近で幕営するよう」返信し幕営地の緊急使用許可をとつてもらう。

一般パーティは中食後予定通り出発、大きな登降もなく中ノ岳、王子岳を前衛にして飯豊連峰を望み、西方は越後平野を一望に納められるのが残念でならない。

今年は雪消えが遅く稜線上は殆んど雪を踏む。途中二パーティが落成した。

本来ならば山頂で幕営なのだが大事をとつて下山する。鳥帽子岩を過ぎるころから風も止み雨も小降りになり、皆なに余裕を感じられるようになる。

砂郷沢の下流左岸の杉植林内で高校バーイティと一諸に幕営する。今夜は雨のため親睦交歓ができる記録の整理、慰労等でゆくべりくつろぐことにする。

五日、相変わらず雨がパラツク

天候は回復しつつあるザイルテクニック、スノーアー(緊急小屋作り)、鉱の使用方、等の講習を行なう。

装備点検では優秀装備を用ひての討論、パンキングの研究等を行なつた。山中行動を終え開会式場である出湯小学校に向う。

村長の祝詞、役員の総評、委員長の講評があり今予選会の成果、反省等が指摘され、理事長の挨拶最後に万才三唱で式を終える。

今予選会を振り返つてみると、荒天のため予定変更を余儀なくさ

れたこと。以前の予選会のように

一般、高校が同一行動でなかつたため状況判断ができにくかつたこと。反面通信機が有効に使われたこと。又役員の積極的な動きが見られ新潟県岳人の心意気を充分知ることができた。

選考評価は、定められた七項目で採点したが、生活技術、マナーに重点をおいた。テスト時の真剣さの不足、雨に対する研究不足等がかなり見られた。

月 日新発田市で選考委員会を開き、慎重審議の結果、

一般、中村英紀(峡彩)内藤新一郎(越稜)玉木栄子(峡彩)右の七氏を正式に候補として新潟県体育協会に申請しました。

一般監督 井出秀雄(峡彩)

高校監督 藩物忠生(三条商高)

高等学校、小野塙輝夫(新発田高)

校) 田辺良則(三条高校)

担当 津南山岳会

県民スポーツの日登山 中越地区、鳥甲山

十日町山路野会

初日の宿、秋山温泉は古い歴史を偲ばせる萱葺きの構え、時既に夕暮れ、奥中津の瀬音のなかに沈まんとしていた。それぞの民宿に入る。

山の珍味数あるなかに春はなんといつてもピリッと効いた『葉わさび』のおひたしと『シン』の肉にまさるのはない。夜の更けるのを忘れて「ソレカブランシヤレ」とばかり酒をくみかわしたであらう。朝の冷氣とともに雨はあがりもえるような新緑の中に鳥甲はすがすがしい姿をみせてくれた。雪解けの水は中津の川幅いつばいに走り、渡渉を許さず駕籠(ゴンドラ)にゆられて川を渡るムジナ平からぶな林を縫つて尾根にである。

万佛岩に至れば『秋山郷』を眼下に俯瞰し、眼を転すれば雑魚川を辿り清水小屋、発哺を望む。しばし鈴木牧之を偲んだことであろう。急坂の尾根はシラネアオイが薄紫の大きな花弁を開き純白なツバメオモトの花が可憐に咲き乱れていた。尾根をつめれば白富の三角点に至る。ここから針葉樹に変り藪を分けて進む。鳥甲最大の難所のカミソリの刃は新潟地震で崩壊し危険であったが登山祭を機に地元の協力を得て整備し安全に通れるようにした。

鳥甲山頂は登山者でいっぱいにだました。前夜から苦労して準備していただいた甘いミルクが飛ぶ

よううれやかな屋食となつた。屋敷集落への下山は赤嵐をのぞき、残雪を滑り、スタコラスター下つてしまふ。留守隊が河原でつくつてくれた自慢の筍汁で舌づつみをうちビールで乾盃、五膳六膳にしみわたる。メダシメデ

タシ。

文責 桑原悌二

四十五年度一般山岳団体指導者冬山研修会に参加して

五十嵐 力 四十五回一般山岳団体指導者冬山研修会に参加して

立山の山麓、千寿ガ原に昭和四十二年六月に設立された文部省登山研修所に開催された標記の研修会に参加する幸運に恵まれ昭和四十六年二月二十日(二十六日まで)六泊七日の日程で、冬山登山に関し理論と実技の研修をうけてきた。私は過去において、十数回の冬山登山技術について各レベルの講習会に参加してきたが、文部省主催による全国的な高度な技術をもつ岳人の集いである本研修会に大きな期待をいだいて参加した。

我が国における国立登山研修所はこの立山が唯一のもので設立されて日も浅く充分な施設とは言えないが、一応その目的を達成し得る諸設備をそなえ、且下工事中の人工岩も間もなく完成の予定と聞

望みをいだいてきた。

一週間にわたつて得た研修内容は三泊四日のスキーリングの実技を主体に講義、研究討論と多彩をきわめ、各項目ごとに充分な時間が費やさなかつたことは、日程上やむを得ないが、参加者が経験豊かな指導者であるだけに、その成果を活用されたことは、何よりも嬉しい。

私にとって山スキーによる登山技術は、はじめての体験で、すべての面でよい勉強になつたことは

技術の習得もさることながら全国から集つた岳人と親しく会し、交流を得られたことの意味は大きなものがある。

プライドを捨てて生徒になつて学んでもらいたい。と言う所長の言葉に久しく忘れていた新人の味を、ありありと思ひ浮へ初心のもつ魅力を再確認すると共に親方気取でいるうちに、いかに体力、技術力にみおどりがくるか、と言う事を身をもつて体験した。

講師陣も国内登山界の一流を集めめたものである。これも文部省ならではだらう。

このようなコーチと寝食を共にしならじ合える機会は、そうやたらにはいはずである。

今後このような催しには前途あれど、若い指導者をどしどし派遣してくれるよう協会当局にお願いした

各山岳会の活動状況について

今回、はじめてのところみどりて各山岳会の活動状況を載せることにし、御寄稿願つたところ。それぞれ特色のある活動状況が集まり大変有意義な会報ができました。

歴史、伝統、特性等ある各山岳会の活動は書き盡せないと思想ですがスペースの都合上、簡単に記文のままにいたしました。

日本山岳会越後支部

日本山岳会越後支部会員名簿は七月によくできました。五月中旬の交通事故で、左脚の膝下骨折、右手首の骨折で入院、一ヶ月余りで退院して、現在四ヶ月経過したが依然として脚も手も元にならない。そんな事でつい発行が遅れたが、支部会員二〇〇名は嬉しい。

支部の在り方については、ここで記すと長くなるから別の機会にする。假に述べたにしろ、總てを支部会員に納得いただけるかは問題であろう。ここで云つておくことはJAC本来のO、すなわちクラブとは何かである。

それについて、会報『山』で知られるように、副会長吉沢一郎氏

が海外各地の山岳会を歴訪されているので、氏が弥彦山へ来られた時、特に「クラブの本質」は何かと、「山岳」か「山」に正しく書くよう改めて要請してある。

その発生、その経過、その運動などイギリスのアルペンクラブを範として、クラブとは、本来かくあるべきものだ、と規定してもらいたいのだ。われわれ支部も、その発表をふんまいて、改めて支部の在り方を認識し、その発展を考えたいのである。

こうした事は、山岳会そのものはもちろん、山岳会の事業の一つのようにみられている遭難事故対策と自然保護運動にもみられる。それが、それぞれの地域的事情や伝統的の歴史があるにせよ、何か根本的の中心点を確り把握して邁進できるのである。

越後支部が創立以来、現在に至るまで、無目的、無行動の如き姿できたのも、確りした基盤に立つていればこそで、これは支部員各自がよく考えて顧みれば判ることである。

海外遠征もしない。保護運動も名もない小さな地域山岳会にできることつてどんなものだろうか。他のどの会よりも有なアプローチにある地元の山への情熱こそ無力なハンデーを克服できる唯一の武器である。

十名足らずの私達にはこの武器である。はつきりと事業をうつている事務機関もある。実行機関もある。それらと密接な連絡をとりながら歩きたい。

支部は命令機関ではない。指導機関でもない。当然のことだが、なうれしいことはない。

政治にも利潤にも関係はない。

個人個人が楽しく、誇りをもつて、集つて拡がつていくものだと思つている。大きく枠を当ててみると、「地域研究」につきるのでなくよう改めて要請してある。

さわがに山岳会の仲間は十年来関東、関西の下風に立つたものではあり得ない。

越後は越後である。東北でもなければ、中部でもない。いわんや東北、関西の下風に立つたものでは結んだ。それでも樹海の自然から抜け切れずカニの横這いを続けている。

さわがに山岳会の仲間は十年来地元の山の藪刈りや小屋作りに没入してきた。そしてようやく北アラブスの白馬岳と日本海を登山道で結んだ。秋山の四回で、この合宿のほかにルブスの白馬岳と日本海を登山道で結んだ。それでも樹海の自然から抜け切れずカニの横這いを続けている。

さわがに山岳会の仲間は十年来地元の山の藪刈りや小屋作りに没入してきた。そしてようやく北アラブスの白馬岳と日本海を登山道で結んだ。それでも樹海の自然から抜け切れずカニの横這いを続けている。

今どき裏山にこもるような内向的考見は時代に逆行しているかも知れない。しかし自分達の住んでいる地域も知らずに居ることこそいか、と考えている。

越後は越後である。東北でもなければ、中部でもない。いわんや東北、関西の下風に立つたものでは結んだ。それでも樹海の自然から抜け切れずカニの横這いを続けている。

さわがに山岳会の仲間は十年来地元の山の藪刈りや小屋作りに没入してきた。そしてようやく北アラブスの白馬岳と日本海を登山道で結んだ。それでも樹海の自然から抜け切れずカニの横這いを続けている。

さわがに山岳会の仲間は十年来地元の山の藪刈りや小屋作りに没入してきた。そしてようやく北アラブスの白馬岳と日本海を登山道で結んだ。それでも樹海の自然から抜け切れずカニの横這いを続けている。

さわがに山岳会

文責 藤 島 玄

直江津山岳会

文責 小 野 健

妙高高原山岳会

文責 内 藤 修

地球のどこまで行たつても山を知り盡すことは難しい。それなら樹海の熊とわむれ、いつまでも井戸の中の蛙でいた方が気が楽だ。その代り自分のホームウェルのことを何んでも知つてよい……と思つてもこれさえもなかなかできない現況である。

これから先数は海谷に集中致ります。

ゲレンデは妙高周辺の山を長い間登つてきましたが、本年度からその目標を海谷山塊に移しています。海谷山塊は夏山ルートがないため積雪期以外は殆んど沢の廻行を行なっています。

これから先数は海谷に集中致ります。

ゲレンデは妙高周辺の山を長い間登つてきましたが、本年度からその目標を海谷山塊に移しています。海谷山塊は夏山ルートがないため積雪期以外は殆んど沢の廻行を行なっています。

社会人で構成している山岳会であれば何處の山岳会も共通の悩みがあると思いますが、当山岳会もいろいろの悩みを持ちながら活動を続けています。

仕事をもつてゐる者同志が山に入ることは、その時間的余裕が極端に制限され、又リーダーとして要求される資質をもつ項は仕事の面においても相当の社会的責任を負つてゐます。

私達の会は、今年で創立一〇周年をむかえました。

その記念事業の一環として訪韓親善を行ない、雪岳山、五台山の登頂に成功し無事終了できましたことは県山協ならびに県下各山岳会の御支援の賜ものと思つていま

す。小さくとも会としては初めての海外登山ということで、得るこ

との多い山旅ができましたことを
ここに紙面を借りて深く御礼申し
あげます。

現在は会の一〇年の歩みを記録
するため頸城山塊の集成を計画
し目下進行中です。

この計画がうちだされた昨年か
ら私達の会には記録のない沢や屋
根を求めて一生懸命歩いていま
す。しかし今までに、あまり片寄
つた山行をしていたため一年や二
年ではどうにもならない「山の本
質」を見せつけられた気がしてい
ます。この二つの事業をとおし
て、国外へでるということは、
たとえ韓国であろうと、低い山で
あろうと未知を求めて海を渡るた
のしさを味わうことができ、この
小さな海外登山を実施することに
よつて多少なりとも視野が広くな
り、地元の山の素晴しさを再認識
できましたと自認しています。

尚おそくなりましたが訪韓親善

登山報告書は近日中に発刊の予定

です。

尚地域的、時間的理由で協会の
行事に参加する機会が少なかつた
がこれからは大いに参加して交流
を計り岳人としての向上に努めた
いと思つています。

文責 駒 村 一 久

高田ハイキング

クラブ

昭和三十七年に誕生した当会も
足かけ十年の歴史をもつようにな
り、その間一般市民ならびに山岳

愛好者の指導育成に数々の業績を
残して参りました。

会の一つの柱として開拓した南
葉山の道切りも会員諸氏の熱意と
努力で完成し、市民の皆様から大
変喜こんで頂いております。

我々の目標は安全登山 公徳登
山であり会の山行もそれにそつて
計画され老若男女共に自然に親し
み浩然の氣を養いその中で自然に
対するマナー等を身につけるよう
努力しています。

当会の山行は、毎月二回計画さ
れ一回はポピュラーな山行で一回
はリーダークラスを対象にしたもの
です。

又年二回一般市民を対象とした
山行、散策等の行事を行ない山と
自然に対する啓蒙と精神的、肉体
的にも余裕のある充実した登山の
普及につとめております。

その他遭難等の事故に対する
会員相互の意識を明確にし、精神
的、経済的に日々怠りない準備が
進んでおります。

最近非常によい傾向ですが、会
員及び一般の方々の父兄縁者より
「高田ハイクの方が一踏なら心配
ない」という噂も聞かれる程で
入りました。總員二十五名の会

員が一糸乱れぬ行動をとつてゐる
のを見ると本当にこの十年の歴史
が感じられます。

今後も山岳愛好者の底辺をねら
つた地道な会として成長してゆく
つもりです。

文責 横田利八郎

長岡ハイキング

クラブ

昭和二十五年創立以来むずかし
いことを一切ぬきで機構も組織も
簡素を旨として、市民と共に自然
を楽しむ大衆的な山岳会として今

まで続いている。

クラブの運営は常任委員会制度
によつて毎月の委員会で活動計画
がたてられる。

会員五百名の活動を満すために
は毎日曜日の山行は必ず組まれ完
行されている。

年中行事としては春秋二回の市
民ハイキング、山岳映画会、夏冬
二回の市民登山教室も恒例となり
市民に密着している。

毎月の会員山行はハイキングか
ら岩場、冬山まで四季を通じて幅
広く、谷川岳、越後三山、只見周
辺をホームグランドとしている。

その他年間行事として東山連峰
鋸山の山開きを戦後独自に始め、
その後この地域が県立悠久山東山
自然公園となり、八方台に休暇セ
ンターができるから長岡市が主催
するようになつた。

文責 室賀輝男

長岡山岳会

創立は昭和二十一年、終戦直後
の混亂期であり、當時創設に情熱を

傾注され努力された方々に対しても
敬意を表しています。

三十七年リーダー制度を採用、
以前事務的な仕事と山行運営面を

兼ねていた役員会を会務委員会、
即ち純然たる事務的な会務を専任

これを継続承共催の型をとつて
二回を迎える。このほか東山連峰
の指導標の設置、道刈りを毎年実

施し市民の安全登山に資してい
る。昭和二十六年に故高波吾策氏
と計り谷川連峰の山開きを主管し
その後越後側から痛しい遭難事故

を未然に防止しようと故高波吾策
氏と共に私設バトロール隊を昭和
三十三年に編成、毎年七月一日八
月末まで毎日曜日、会員自費で
バトロールの出動を続けている。

登山を通じ全員の技術の向上を
図ると共に誠実で健康な人造りを
目標とし、特に若さとバイタリテ
ーを失なわぬよう終身現役制度を
とつており、中学生から七十才の
老人までと層は厚く、親子、夫婦
会員も多い。

酒は総じて強く春の熊祭り、秋
のナメコ祭りは夜を徹して飲みあ
かす楽しい慣例の催となつてい
る。山行を通じ人間同志か親子兄
弟以上に社会活動にガツチリ力を
合わせているのが現況である。

長い間かかつても次第に正しい
姿に浮び上がり、それを不動の道
義心から会の解散か存続かが論議
され深く謹慎態勢となり批判に内
攻せざるを得なかつた。

再三の遭難事故により社会的道
義心から会の解散か存続かが論議
され深く謹慎態勢となり批判に内
攻せざるを得なかつた。

長い間かかつても次第に正しい
姿に浮び上がり、それを不動の道
義心から会の解散か存続かが論議
され深く謹慎態勢となり批判に内
攻せざるを得なかつた。

文責 畑上 次郎

津上製作所
山岳部

会にしたいと考えている。

文責 水野誠治

秋空の雲の去来を見るほどに
山恋しころおさいかねつも

吉井勇さんの歌を借りてきたが

私達津上の山岳部がこの秋一番の大行事として計画し準備している四事業所親善登山大会の案内に状況の冒頭に使用させていただいた歌である。

吉井さんが、いくつのときの歌であるか知らないが、深い山恋う心の伝り具合から、かなりのお歳の歌かも知れない。なにか紅葉の山道を無性に歩きたくなつてくしている仲間達と、登山を通して親睦をはかる目的ではじめた親善登山も四回目を迎える。

このところ佐久市にある信州工場と長岡とで交互に担当している。普段お互に遠く離れて仕事をしている。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。

このところ佐久市にある信州工場と長岡とで交互に担当している。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。

このところ佐久市にある信州工場と長岡とで交互に担当している。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。

このところ佐久市にある信州工場と長岡とで交互に担当している。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。普段お互いに遠く離れて仕事をしている。

岩峰山岳会

事業として市山岳連盟、県山岳協会の行事に参加。つい最近まで女人禁制の山岳会だつたが、その伝統に勇断をもつて終止符を打ち美人の会員二名あり。

文責 八木下惇夫

当会の創立は昭和二十四年である。十年目の三十四年十月に不可

能に近いといわれていた南蒲原郡下田村の清流五十嵐川の対岸にそびえ立つ「八木鼻」正面岩壁の初登攀成功した。

八木鼻の岩壁は高さ約百米、谷川岳一ノ倉のツイタテの奥壁ほど高さはないが、岩がもろく、オバーハングが多くいため技術的には奥壁よりむずかしかった。

それ以来益々岩登りに励み数多くの成果を収めてきたが、四十二年一月谷川岳の二重遭難で中堅リーダー各三名を失つた悲しみに一時は気力のない活動が続いた。しかし同年六月追悼誌「岩峰」 A 版百五十二頁を発行、同七月現地マチが沢に遭難碑建立、それから半年後本來の姿に立ち戻つた。

あの時は協会又その他関係機関の皆様に大変御迷惑をかけ又御世話をなつたことを紙上を借りて厚く御礼申しあげます。

現在会員二十八名、毎月五日と二十日に定例会合を開く。会事業として毎年五月十五日と十七日まで谷川合宿。二ヶ月に一度リーダー会を開催。月例登山(OBも参加)を行なう。

秋は恒例の市民ハイキング、バランスの集いを催し十数年続く。会外

文責 近藤吉昭

新潟登高会

ており、常に基礎訓練をおこたらず困難をめざしてのたゆまない努力を続けてゆきたいと思う。

文責 八木下惇夫

登攀同志会

夏は岩場、冬は氷壁の登攀を目的として会を創立してから四年目を迎えた。

僅か三人で出発した会であったが現在一五名の会員で構成しており、その一五名全員が現役であることがうれしい。

谷川岳東面の岩場の登攀は百数十回、トレースしたルート数は五本をこえた。

明星山には日本で有数のルートを開拓し、昨年会員二名をヨーロッパアルプスへ送りだした。

このからの山は日本だけにとどまらず、ヨーロッパアルプス、ヒマラヤ等、世界が舞台だと思う。

当会の会員の殆んどが海外を目的としており例会には遠くアンデスの話題が花を咲かせるなど楽しい機上登山がいつぱいである。

八月の夏山登攀合宿は巻機山天狗岩で行こなつたが途中より急に大雨となり約八十メートルの懸垂下降で退却しなければならなかつた事は残念であった。九月の縦走は後立山方面、八方尾根より五竜岳と鹿島槍と扇沢コースで天候に恵まれ大成功で終つた。

十一月の合宿は朝日連峰の縦走となつてある。各合宿毎に重点目標をおき、それに基づいて皆んな

安全登山を大きなスローガンとし、運悪く事故に遭遇した場合は自分達の会で、という事を目標に新人を含めた全会員の技術向上を計り各合宿にそれらを加味し、救助体制作りをやつているが、なにしろ未熟者ばかりなのでそこまでいつていいのが現況である。

年間合宿は四回行なわれ、その内容は岩登り一回倒にならないよう縦走合宿と登攀合宿とに分けを行なつてある。

五月の連休には谷川岳一ノ倉沢定着の登攀合宿を行こない、南稜及び鳥帽子奥壁の登攀と二ノ沢周辺に於て雪稜技術の研究を行こなつたが天候不良のためあまり成果があがらなかつた。

八月の夏山登攀合宿は巻機山天狗岩で行こなつたが途中より急に大雨となり約八十メートルの懸垂下降で退却しなければならなかつた事は残念であった。九月の縦走は後立山方面、八方尾根より五竜岳と鹿島槍と扇沢コースで天候に恵まれ大成功で終つた。

十一月の合宿は朝日連峰の縦走となつてある。各合宿毎に重点目標をおき、それに基づいて皆んな

究を重ねている。このほか月一回乃至二回の山行を行こなつてあるが、より多くの人達に山登りの良さ、又登山を理解してもらうために当会が主催して市民登山を行こない今年は第五回目にあたり日本平山を計画している。又本年から年間重点山岳地帯を決め主にその山岳地域を登山し、勉強し又研究するようにし、今は蒜山周辺、日出谷、水沢集落を基点に長走川より鳥帽子山周辺が候補にあがつているが後日総会で決定されると思う。

文責 広川健二

緑星山岳会

当会は現在新旧の交替時期に当たり、若い芽を如何に引出して伸していくか、これが当分の課題であると思います。

山好きの連中が集つてゐるのが山岳会ですが、職域団体では山へ出かけるムードを作らないと出られないもので、何とかそういう方向にもつてゆく努力を重ねています。今年に入つてから、残雪期の米山、平標山を各十名くらいで出かけ、六月には谷川岳から平標山まで国境稜線の縦走(毛渡乗越で幕営)。七月は巻機山を六、七名で登りました。

今年の夏はぜひ穗高涸沢合宿を

と計画していたのですが、休日が長岡祭とぶつかつていろいろと支障があつて六名が槍穂縦走でお茶をしました。

長岡市主催の春の市民登山と、

九月行わられた中越音協の平標登山にはリーダーをおくりました。

十月は当会のO.B.二人が秘境秋山郷にそびえる鳥甲山へ登り若い者に刺激を与えていました。

九月二十日を中心て谷川岳東面で年一回の合宿を四日間行なう準備をすすめています。これは岩登りの基礎訓練が目的です。尚雨飾山も予定に入っています。

このようにして当会の若い芽を早く伸ばしたいと思っています。

駒草山の会

当会の会員に妻帯者が増え三十代から四十代の会員が多く、山にかかるものが減つてきている。

本当に山が好きで、あれ程一生懸命に登つた人が、と不思議に思われる位である。それでも先輩を中心におられる会員が張切つており、山行は合宿二回(春、秋)と毎月一回行なっている。特に冬期はスキーキーが主になるので月例会の出席率は非常によくなつてくる。

月例会は毎月一日と十五日の二回でその他山行の時は検討会等を開いている。会の山行、又は行事開催は非常によくなつてくる。

来年の二月頃には第六号発行が予定されている。

当会は無理をしない楽しい山行をモットーにし、自然保護をかかげながら、人間と自然の調和を押進めてゆきたいと思っている。

文責 栗山直樹

十日町山路野会

八月が終つて今年の山行計画の半分を消化した。

会長と役員は一年制で、今年の

中林会長の特色は、奥只見周辺の山行に重点が置かれ、浅草岳、鬼ヶ面山、水無川、会津駒ヶ岳などの会山行が行われた。

それに会山行を少なくしたので個人山行が活発に行われている。

月二回の例会は毎回四十名程度の出席がある。

月一回発行の会報「やまみち」

には山行計画や報告、役員会の決定事項等が記載され、例会に出席しなくとも会の動きがわかる。

昨年寡隣で離村した農家一家を買い取つて山小屋にし、いろいろを囲んでの集会も情緒があつて良いので盛んに利用されている。

花見と月見と年二回馬鹿さわぎ

一回行なつていている。特に冬期はス

キーキーが主になるので月例会の出席率は非常によくなつてくる。

月例会は毎月一日と十五日の二回でその他山行の時は検討会等を開いている。会の山行、又は行事開催は非常によくなつてくる。

来年の二月頃には第六号発行が予定されている。

来年の二月頃には第六号発行が予定されている。

面山花見、五月中越地区登山祭の偵察に鳥甲山に何回も行く、六月登山祭で鳥甲山、新人歓迎山行で卷機山、七月妙高山、火打山、トマニングと山岳講座が一週間、八月夏山合宿で水無川、九月会津駒ヶ岳、十月市民ハイキング、等である。

文責 滝沢信一

新潟山岳会

当会はここ数年、東蒲原郡の御神楽岳の地域研究を課題とし、東面の本谷周辺や湯沢の奥壁を踏査してきた。

また昭和四十六年の正月、ようやく本峰笠倉山の縦走に成功し、これから冬は岩壁登攀を対象とする方針である。

しかし御神楽岳全域からすれば東面はほんの一部でしかなく、室谷川源流などにまだ資料のない沢が沢山あるので、前途多難と云うべきか、やりがいがあると云うべきか、とにかく今後もこの研究を進めてゆくつもりである。

当会の実質会員は三〇名、男女女の一割合で平均年令二十三才。

例会山行、下界の例会、役員会が月一回あるほか指導部が隔月、おきに技術訓練山行を行い、また月一回の下界での登山講座を開いています。

佐渡へ佐渡へと草木もなびく佐渡は居よいか住みよいか。と唱われたのは昔のこと。

車と人がワンサと押しかけこのレジャーブームに乗りおくれまいとスカイライン建設の声が大佐渡小佐渡の聖域にこだまする。

とにかく車の通れる道をつけさえすれば、という無策行政が佐渡の自然破壊の触手として押し寄せ

さらに隔月おきに会報「くちなし」を発行し、登攀記録の整理を行なつてるので編集部の部会も

多く、渉外部主催のまつりごと、事務局会議、会計部会などを加えると、会員達の顔を合わせる機会が年間八〇回以上となる。

まして当会公認の大衆酒場で会議も含めると、年間三〇〇回以上となる会員も数名いる。だから横の連絡は密接で、活動は活発すぎるくらいと思うが、そのため晩婚型の会員が多い、という伝説さえある。

ゲレンデは五頭山の大荒川の沢で、とくに下流左岸の赤安岩の登攀訓練にはいつも二〇名以上の会員が参加し、また本流の大ヤゲン直行、三階滝直登などは上級者の訓練に使つていて。

なお、二年後に当会創立十周年を迎える。具体的ではないがこの頃までに御神楽岳全域を踏査し、不充分ながら記録をまとめて報告書を発刊したいと思つていて。

文責 森田健

佐渡山岳会

佐渡へ佐渡へと草木もなびく佐渡は居よいか住みよいか。と唱われたのは昔のこと。

車と人がワンサと押しかけこのレジャーブームに乗りおくれまいとスカイライン建設の声が大佐渡小佐渡の聖域にこだまする。

とにかく車の通れる道をつけさえすれば、という無策行政が佐渡の自然破壊の触手として押し寄せ

るや回にわたり対策会議を持ち新スカイラインの設立に反対を表明しそれぞれの担当機関に申入れ

且つ動物、植物愛護の方々等とタ

イアップして「佐渡の自然を守る会」を作り佐渡の自然と天然の文化財が観光産業の名のもとに動かされるブルトーニーの瓜踏から守らうと会員あげて取組んでいます。海から見える弥彦山の禿は永遠に復元できないであろう。

尾瀬の自然は大石環境庁の勇断により公害から守られようとしているよう、佐渡に残された最後の縦走コースが観光開発という名のもとに汚されてしまつては佐渡は人の住めない草木も生きられない死の島と化してしまつだろう。佐渡に大石環境庁官必ずいるものと確信をもつて観光公害禍を取り除いてもらうよう取り組んでいます。

山の仲間達の絶大な御協力を切望いたしております。

文責 飯山弘

峡彩山岳会

井口正男会長のモットーである安全登山、公徳登山を題目に入れて、二十年になろうとしてお

ります。

夏山では飯農と朝日連峰の沢々に多くの足跡を残し、冬山も多くは飯農とその周辺の山で合宿を行なつてきました。

しかしながら昨今では若い血氣

盛んな会員は氷雪に、岩壁にと目を向けてあります。

会としても、井の中の蛙大海を知らずのたえの様に越後の山々に終始する事なく、現在の登山界のあり方、そして、多くの山を知り、山人達の物の見方、考え方を学び取る事が、今後の指針としても大切な事と思ふ、県外の山での合宿山行も増して来ています。月一回平均の会の山行と、研修会、役員会等も積極的に動いています。又夏、冬の合宿の他に、六年ほど前より先輩諸氏の計らいで、奈良県の「奈良山岳会」との姉妹山岳会の縁を結び年一回の交止登山会を催して友好を深めておられます。

文責 井出秀雄
国鉄新潟管理局
山岳部

二月に高波さん四月に森谷富さん兩氏を失つたことは余りにも大きな痛手でした。

一頑張らなくつちや」と会員一同漸くシヨツクから立直りつあるのが現状です。

故人が余りにも大きな存在であつたために何彼といたらない点が目立つと思いますがよろしくお願ひします。

新鉄本局山岳部いつも新鉄山岳連盟としての動き(本局山岳部は連盟の世話役的存在のため活動は同じ)について書いてみるこ

とにします。

△遭難救助隊について

要項を作成各地区からいせん者をもつて救助隊を編成しました。

△技術研修会の開催について

連盟部内の一種二種及び地区指導員の有資格者を中心として昨年に引き続き本年も実施

ナーの向上をはかつております。

△合同登山について

毎年一回主管団体を定め親睦をはかるためと登山知識の普及をはかるために実施しており今年は十月鳥海山、来年はひげさんの一年忌を兼ね谷川岳を予定しています。

△海外登山に隊員参加について

当連盟には一種の加藤、今成、高橋、二種の加藤(利)その他地区においても数多くの有資格者がおります。これを基盤として各種行事地区別の山行等を通じ技術、知識の向上をはかり指導員の養成を心がけております。

△銀山平山小屋について

奥只見周辺の山のベースとして本年から銀山平に山小屋を造りました。

文責 古川文男

新潟大学医学部付属 看護学校山岳部

安全登山・公徳登山・を目指し

猪俣信市氏の指導のもとに前期

月と八月は、新人訓練を主体とし

た飯豊合宿を行なつた。

後期九月と三月は、紅葉山行、初冬山行を加え春山、夏山とは異なつた山の妙味を深く味わい、長い冬は山行記録整理と學習を行なうこととしている。

四月、新入生歓迎登山を皮切りに基本的な歩行技術・雪上技術・生活技術・急救法等を主体として焼峯山、二王子岳、守門岳を登つた。岩・沢登は御前が遊窟と御神楽岳で、ボッカ訓練は梅雨期の白山ノ栗ガ岳を舞台に行なつた。

合宿山行の夕食後テントの中で岩山の特性、山行の思い出等で、その他四方山話が猪俣

チと私達の間に尽きることがない。特に私達と山を密接にした山行はブツシヨと春雪と山上の風雨に耐えた二王子岳、二ツ峯、門内岳の三泊四日五月の縦走と、紫のミヤマリンドウ、マツムシソウの盛りだつた夏の飯豊においてであつた。

文責 猪股信市

むささび会

文責 猪股信市

郷土新潟の山を愛し、沢も道な

り登山、轟山登山を主体とした：これは当会の会則の対象となる山行の一行為です。

この会則により約三年の年月をかけて音名山塊の地図作りに没頭し現在地元部落の聞き込みと冬山観察を残す段階に入りました。登山の安全と楽しさを充実させるためはじめた仕事です。

若い私達の指導者は山であり、肌で教わる山こそ、自分の身についた楽しさでもあります。

活動状況など問われると先輩方の会にくらべ、おはすかしい小さな山登りであるかも知れませんが未熟な力、未熟な頭でそれでも若さの限り楽しませてもらつていま

す。菅名岳がひとと区切つきそな

ので、そろそろ一段広い所を楽しもうと会員一同張り切つていい今

日今頃です。

その他毎年県山協の行なう山岳遭難救助訓練はじめとする行事に

大いに参加し登山界の視野を広げてゆきたいと思っています。

今後共よろしくお導びき下さい。

文責 加藤明文

新潟交通山岳部

文責 加藤明文

ピオレの会

新潟市から一番新しい五頭山をト

レーイング、ゲレンデとして十数年いろいろの角度から登り研究してきました。

五頭山塊にはまだ未知のと

ころが沢山あるので地味ではあるが五頭山塊を登り続けてゆく予定である。

り蔽も道なりの教えにより、沢登り登山、轟山登山を主体とした：これは当会の会則の対象となる山行の一行為です。

この会則により約三年の年月をかけて音名山塊の地図作りに没頭し現在地元部落の聞き込みと冬山観察を残す段階に入りました。登山の安全と楽しさを充実させるためはじめた仕事です。

若い私達の指導者は山であり、肌で教わる山こそ、自分の身についた楽しさでもあります。

活動状況など問われると先輩方の会にくらべ、おはすかしい小さな山登りであるかも知れませんが未熟な力、未熟な頭でそれでも若さの限り楽しませてもらつていま

す。菅名岳がひとと区切つきそな

ので、そろそろ一段広い所を楽しもうと会員一同張り切つていい今

日今頃です。

その他毎年県山協の行なう山岳遭難救助訓練はじめとする行事に

大いに参加し登山界の視野を広げてゆきたいと思っています。

今後共よろしくお導びき下さい。

文責 丸山太

て活動が実施される。

その他毎月一回の集会は、山行報告、登山講座を主体に行なわれている。

登山活動では、総会のときには大きな目標をたて、その目標に向つた山行を毎月一回行こない四季に一回づつの合宿と、春秋に従業員及び家族を対象とした大衆登山を実施し、登山の普及に寄与している。

合宿の主な行事としては、嚴冬期の谷川岳、春の二王子岳での訓練

夏の越後三山、頸城三山縦走等を行なうこの合宿によりリーダーシップ、パートナーのチームワーク及び各人の技術と体力の向上等も兼ねて実施している。

ただ残念なことは部員一人一人が会社の仕事上、勤務時間の相違

公休日が違うので全員が一緒に参加できず、常に十人足らずの山行になることである。

部員一人一人が登山者としての強い自覚と行動力を持つてもらうことを念願している。

文責 丸山太

当会が発足してから今年で十年になる。国体の予選会場が五頭山塊になつたことと十周年を記念して五頭山集成図の完成を間にひかえている。

例会は毎月二回座学、山行報告次回山行計画を主体に行なつて、今年度は気象に重点をおいて、みつちり勉強し、全体的には精神面の向上にも努力している。

今年の山行計画は冬山合宿、春山漫歩、夏山合宿、秋山紅葉をたずねての山行の四回に絞り全員参加を原則としている。

他に個人山行を奨め、会としては月別に細い山行計画を立てて、ないが会員それぞれの時季的に好む山行きができるだけ沢山やつてもらいたいのが意向である。

今年は十周年記念として充実した会報「ビオレ八号」を発行する予定である。

文責 三富一郎

山岳同好会新潟望遠

現在会員数三千五百名、役員構成は会長、副会長、企画三名、編集二名、会計一名です。

かたくり

文責 小林清隆

巻ハイキングクラブ

文責 大川サチ子

越後吉田山岳会

文責 菊地誠

山行の計画、報告、講座等その他を行ないます。

月一回機関紙『稜線』を発行し年一回会報を作成します。

当会の山行は月例山行が一回で

これは会員の誰れどもが行けるものを取りあげています。
日帰り夜行日帰が殆んどです。
尚合宿は三月春山、五月連休山行(今年は巻機山・谷川岳)七月(飯豊連峰)八月(上高地・創ヶ岳・雪ノ平・鳥帽子岳)等をおこないました。

そしてメンバーを選らばねばならない山行は個人山行として行ないます。一月の五頭連峰縦走、三月越後駒ガ岳、八月巻機山の米子沢、杉川等です。

山行の方法としては私達は、いろいろな山をくまなく歩くという方針ですが会員中の約半数が女子のため、それも考慮に入れた山行をおこなっています。

今迄の望遠は県山協や他の山岳会の交流が少なかつたと思いますが、それがリーダーの不足を感じています。

今年はあたりから県山協の行事には積極的に参加するようになりますし、私達としても大変得るところがあつたと思つていま

す。

女子だけの集まりは、やはりむづかしく、これから先どうなるかわかりませんが、もう少し視野を拡めて一步一歩足をのばしてみたくなります。

女子だけの集まりは、やはりむづかしく、これから先どうなるかわかりませんが、もう少し視野を拡めて一步一歩足をのばしてみたくなります。

文責 大川サチ子

文責 菊地誠

文責 堀川正路

文責 堀川正路

当会が県山協に加盟してから三年過ぎましたが、その間、県山協の行事に参加したことは一度もなく、全く手前勝手に行動してきたことになります。

それというのも当会の内容が今まで山岳会といふより社会人サークルの色彩が濃かつたために、登山という行為がそれ自体が目的なのではなくサークル活動を推進するための手段として使われてきた

最近の山岳会の社会的意義、環境を考えるに、ごく一部を除いては高齢化的傾向にあると思われます。当会もご多聞に洩れず、その活動も往時の盛ん見受けられない。とて少数精銳主義をとらざるを得ない山岳会が多いと聞いています。

アブミにのつた村山が尺取虫のように宙にせりだし、手探りにリスを捲しあぐねている。

下だ！上だ！左だ！右だ！と全くうるさい。裸で早出川に腰までつかり、確保しながら、虻を追つ

年目になりますが、何にしろドングリの背比べのような状態なので四苦八苦しています。

私達は経験も浅く不慣れなので山行としては殆んど縦走を主としました。

日程は二泊三日位です。昨年は九月に妙高山、巻機山の米子沢、十一月の蓬峠より朝日往復が主なものです。

その他母校の春山、夏山合宿等にOBとして参加してきました。今年になつてからは個人的に行けなくなつたりして、なかなかまともならず現在は停滯状態です。

今年になってからは個別的に行動してゆくことになりますが、ホーミングランドである角田山の自然保護、山小屋の管理等を通して馬鹿ばかりが残つてしまつた状態になりました。

それで今後の当会の姿勢ですがホーミングランドである角田山の自然保護、山小屋の管理等を通して馬鹿ばかりが残つてしまつた状態になりました。

せいいのです。

今年で創立十周年を迎え、その間会員の移り變りも激しく結局山馬鹿ばかりが残つてしまつた状態になりました。

この反面自然保護を呼び身を持つて示している人達が多いことも忘れてはならない。自然の醍醐味を味わうには、自然保護を努めなければならぬと思つています。

当会の指針はそれらを考慮して

ます。

それには執行部を始めとして、

全員が登山における技術、知識

態度等全ての面で向上に努めてゆ

かなければならず、県山協を始め隣接町村の山岳会とも連絡をとつて指導をあおぎ、共に活動してゆく事が肝要だと思ひます。

今後共色々と迷惑を御掛けした

事で、毎年春秋の二回(秋は一泊二日)で町民登山をおこなつて一般へのアピールに努力している

(本年二十三回目)

一、登山の眞の姿に帰るため、今は荒れしまつた弥彦山の大平

で毎年六月下旬に高頭祭を実施

している。自己反省には良い場所です。県下の岳人のおいでをお待ちしています。

一、その他会員の山行は年次計画で定め、山岳協会の行事を優先的にお考

慮してい

払うのも楽ではない。山溪の「わが山岳会」の紹介写真的撮影をかねた、わが会の家族ピクニックの余興である。

二〇メートルの直壁の中間に、鋭角二メートルのオーバーハングがある。このハンギ越えの釣上げに皆はアゴを上げている。制限時間は一時間。家族の声援で何が何でも、と張り切つたが、ハンギを抜ける寸前でタイムアップ。若い大沢が交替して、二〇分のオーバーでチヨン。講評は、ハンギ基本のハーケン七本は打ち過ぎ、練習次第で四〇分くらいに短縮可能の放言評だ。まずは乾杯と、ビールがポンポン、ハーケンを打つて延々二時間の酒宴となつた。三メートルの岩棚から渕へダイビング競争となつた。笑込んだ途端、パン

も山行を大幅に取り入れた。一月一日元旦登山を白山で行なう、梅田外四名。一月四日粟ヶ岳梁取外二名。一月十五日五頭山、丸山外五名。二月十三日~十四日冬山合宿白山において、梅田外五名。三月二十七日登山映画のタベ参加者五十名。四月四日白山山開き、参加者七十名。五月二十二~二十三日春山合宿、目黒外十三名。六月二十六日~二十七日越後駒ガ岳、杉沢外三名。七月十四日灰峠道刈、五名。七月二十四日~二十九日苗場山、今井外三名。八月二日~四日富士山、杉沢外二名。八月二十三日~二十四日巻機山、目黒外四名。

矢筈山岳会

私達の会は会員三十三名で若い人達で構成されている。ホームグラウンドである川内の山は、まだまだ開拓されていない山が沢山残つており、地元の山をジックリ腰を据えて研究してゆくつもりであ

ちやん、がき共の大歎声。子供が引張つたり捲くつたり。千鳥足の大将、よたよたと尻もち、ちらちら見えるあたりに、おかあ

披露。水から上つた彼のタオルを

下越山岳会

文責 梅田吉治

当会の創立は昭和九年で県内で古い方に属すると思う。先輩諸氏の話によると湯ノ平と洗濯にカマボコ型の小屋、米倉スキー場に(二十名位収容)休憩小屋等全部

中条山の会

文責 須藤洋一

目下胎内計画を続行中、この計

画は日本海から門内岳までの胎内の山と川の踏査を目的として(昭和三十三年から尾根の部、四十三年五月田子河原から坂上沢右俣を経て二ツ峯間の本流遡行に入る準備

に迫られている。この計画は八ミリによって記録を据えて研究してゆくつもりであつたが、以来今日まで続いており、創立当時からの会員が三人いまだ健在で在籍。

多勢の先輩がつくりあげてきた

女であつても飯豊ならどこへでも一人で入つて、どこでも寝れる会員……こんな岳人になるために松差岳をホールグラウンドとして生れた関川村山の会が十数年たつてしまつた。

関川村山の会

文責 五十嵐力

登山部

高等学校体育連盟

文責 平田大六

高等学校登山部の昭和四十六年度の行事は九月二十二・三日の浅草岳秋季全県登山大会をもつて予定の行事を全部終了しました。

四月末、残雪期の巻機山での二泊三日の登山技術講習会をはじめとして、五月十四・五日の上、中、岳岳体調がはなはだしく悪くとも、その原因が山中での痛飲である場合、落悟し、あるいは他の会員の助けを求めるることはできない』

伝統と功績を受け継ぎ、飯豊川流域の沢と山の開拓を続けている。

域の沢と山の開拓を続けている。

間以上の長編となる見込み、現在は一時間十分がでていている。他に

かわいそうであったが守りとおしてさた。

他の山を登り、会員一人一人が自覚を持ち、多くの山を知り精神的な面でも立派な岳人になるよう個人山行を大幅に取り入れた。

一月一日元旦登山を白山で行なう、梅田外四名。一月四日粟ヶ岳梁取外二名。一月十五日五頭山、丸山外五名。二月十三日~十四日冬山合宿白山において、梅田外五名。三月二十七日登山映画のタベ参加者五十名。四月四日白山山開き、参加者七十名。五月二十二~二十三日春山合宿、目黒外十三名。六月二十六日~二十七日越後駒ガ岳、杉沢外三名。七月十四日灰峠道刈、五名。七月二十四日~二十九日苗場山、今井外三名。八月二日~四日富士山、杉沢外二名。八月二十三日~二十四日巻機山、目黒外四名。

岳岳体調がはなはだしく悪くとも、その原因が山中での痛飲である場合、落悟し、あるいは他の会員の助けを求めるることはできない』

などで自然に親しみ、基礎技術(特に生活技術)に重点をおいて、高校山岳部を経て近い将来、私達の頼母しい山仲間となつてくれる軌道にのり、キャンプや低山歩きなどで自然に親しみ、基礎技術(特に生活技術)に重点をおいて、高校山岳部を経て近い将来、私達

町民登山を計画している。年、中学生を主体としたA・Cも走、岩登り訓練など多くの山行があり、本流遡行が終ると苗場山にあります。この会に従事する者たる私たちは、これからは隣接山岳会の交流を深め、県山協の行事には積極的に参加し、井の中の蛙的の存在から脱皮し、現代の若い登山者の思想を正しく伸ばして行くことに努力しなければならない時期のきついことを痛感する。

会員四十三名女子九名、ジユニア二十八名(男子のみ)例会 每週金曜日六時~八時会費は年額二千円 文責 五十嵐力

峰のどこかである。これでは若い新しい会員が増えないのは当然だ。なんとか若い人達に魅力のある山岳会にならなければ、と思案されど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆ

ことを見つける。会員四十三名女子九名、ジユニア二十八名(男子のみ)例会 每週金曜日六時~八時会費は年額二千円 文責 五十嵐力

高橋山岳部を経て近い将来、私達の頼母しい山仲間となつてくれる軌道にのり、キャンプや低山歩きなどで自然に親しみ、基礎技術(特に生活技術)に重点をおいて、高校山岳部を経て近い将来、私達

町民登山を計画している。年、中学生を主体としたA・Cも走、岩登り訓練など多くの山行があり、本流遡行が終ると苗場山にあります。この会に従事する者たる私たちは、これからは隣接山岳会の交流を深め、県山協の行事には積極的に参加し、井の中の蛙的の存在から脱皮し、現代の若い登山者の思想を正しく伸ばして行くことに努力しなければならない時期のきついことを痛感する。

峰のどこかである。これでは若い新しい会員が増えないのは当然だ。なんとか若い人達に魅力のある山岳会にならなければ、と思案されど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆ

ことを見つける。会員四十三名女子九名、ジユニア二十八名(男子のみ)例会 每週金曜日六時~八時会費は年額二千円 文責 五十嵐力

ものでなく、技術のひとつであることを期待して訓練している。

会員四十三名女子九名、ジユニア二十八名(男子のみ)例会 每週金曜日六時~八時会費は年額二千円 文責 五十嵐力

ものでなく、技術のひとつであることを期待して訓練している。

会員四十三名女子九名、ジユニア二十八名(男子のみ)例会 每週金曜日六時~八時会費は年額二千円 文責 五十嵐力

ものでなく、技術のひとつであることを期待して訓練している。

峰のどこかである。これでは若い新しい会員が増えないのは当然だ。なんとか若い人達に魅力のある山岳会にならなければ、と思案されど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆかれど古い繋りを断ち切る訳にゆ

下越の地区大会、六月三・四・五日の二王子山の高校総合体育大会兼全国高校登山大会県予選会などの春季の行事を終え、秋季は一回きりの大会を終えたわけあります。何れの大会も多数の部員を迎えて盛会でありました。この間、開催地の市町村、山岳会の御支援を戴きました。

八月上旬四国剣山とその周辺で行われた全国高校登山大会には県代表新発田高校、三条東高校の男女各一バーティ（選手四、監督二）が出席し優秀な成績を收め、新発田高校は男子ベスト・ナインに入りました。国体登山部門には新発田高校小野塚輝夫、三条高校田邊良則、監督に三条商業高校監物忠教諭が出席します。

夏季休暇には各高校では登山部合宿、部外の生徒を含めて各地の名山に登山会を行っています。加茂農林高校登山部が朝日岳登山中引率の毛利輝司先生が落雷により遭難死されました。救助に当つては地元市町村、警察署、山岳会より多大の救援を戴きました。

晚秋より冬へかけて長いトレーニングの時期に入ります。冬季、春季休暇の合宿を行う登山部もあります。

高校登山部では登山部の適切な指導を行うための目安として登山指導テキストを立案作成しています。その目標は、1高校生を対象とする。2地域性を考える。3最初の試みとして春山を中心としたものにする。内容としては、1基

礎に重点をおくる。2基礎より応用へ、初歩より中上級へ発達の順序による。3内容を三編に大別してA基礎編 B技術編 C生活編とする。執筆には高校登山部顧問が月までには原稿をまとめ、昭和四十六年度末までに印刷し完成をめざしています。

文責 杉浦英午

△関東地区遭難対策協議会
二月六日～七日長岡市柏町、東泉閣で東京、千葉、茨城、新潟、各県より一〇〇名参加して開催、第一分科会遭難者の搜索について、第二分科会遭難者の搬出技術について、二分科会にしほつて熱心に討議。いつもこの種の会議は予算がなく、予算の出処と身分保証の責任と発令を誰がするかでいつも壁に当つて進まないことをつくづく感つた。

△第二回新潟県山岳遭難指導者講習会
三月七日～八日南魚沼郡湯沢町

五月三日～五日北蒲原郡笛神村地内、五頭山塊で開催、参加者一四〇名。

△第二十六回国体登山県予選会
五月三日～五日北蒲原郡笛神村地内、五頭山塊で開催、参加者一四〇名。

△昭和四十六年度指導員研修会
一月二日～二月西蒲原郡卷町越前浜、県青少年研修センターで開催、参加者七〇名単位山岳会にはそれぞれ共通した問題が山積しており、これを主体に単位山岳会の望しいあり方について熱心に討議が行なわれた。

△新加盟山岳会紹介
かたくり
会員 八名
代表者 大川サチ子
新潟市西堀通三一七九〇大川方電話二八一五一一二
△県民スポーツの日登山
六月六日前後に上越地区明星山、中越地区鳥甲山、下越新潟地区佐渡経塚山、各地区に分れて盛大に楽しく開催されましたが、事と志が違い今回も豪雪です。待は大きく主催者側としてもなんとか、これに答えるように努力はしましたが、事と志が違うと運休になりました。担当山岳会の骨折に深謝いたします。

△新潟大学医学部看護学校山岳部会員 十九名
代表者 丸山太
新潟市万代一十五一同社内電話四四一一一内三三八

△第一回新潟県登山祭
七月二十五日弥彦山で開催、参

△新潟市旭町通り一新大桿柄寮内会員 一〇名
代表者 猪俣信市
電話二三一六一六一 内六五八

和歌山国体に参加して一般監督 井出秀雄
和歌山国体は、黒潮国体とともに名されスローガンは明るく、豊かな、たくましく、ということで開かれ、山岳部門は奥高野、果無山系で十月二十四日から二十九日まで六日間行なわれました。

人情味豊かな和歌山の人達の大観迎に感激しながら、弘法大師で有名な、高野山、金剛峰寺境内の入山式場に向う。

新潟県勢は一般はA隊五班で高校はE隊三班に各々編入され、千米から千三百米級の山で技を競え、新潟県勢はお蔭様で一般、高校ともに優秀賞を貰い、閉山式場、熊野の本宮をあとにしました。これは諸先輩の御指導の賜ものと厚く御礼申しあげます。

尚詳細は次期会報に報告させていただきます。

頸城山稜会
会員 四十五名
代表者 石田昭夫

上越市中央町三一八一四

昭和47年度 新潟県山岳協会加盟団体名簿

昭和47. 2. 20現

事務局新潟市営所通1(学生書房内) TEL 22-9870 郵便番号 951

地区	山 岳 団 体 名	会員数	代 表 者	連 絡 事 務 所	TEL	郵便番号
新潟地区	日本山岳会越後支部	200	田 中 賢 一	新潟市祝町4888 藤島玄方	28-8755	951
	新潟峡彩山岳会	142	井 口 正 男	〃 営所通1 学生書房方	22-9870	〃
	新潟大学山の会	84	小 林 兼一郎	〃 旭町通1 大学内	23-6161	〃
	東北電力新潟営業所山岳部	10	笛 川 文 雄	〃 上大川前通6 新潟営業所内	23-3151	〃
	山岳同好会新潟望遠	30	小 林 清 隆	〃 上大川前通5~96 川崎紀一方	29-2008	〃
	新潟登高会	20	広 川 健 二	〃 笹口3~12~4 長谷川模型店方	47-3940	950
	高嶺グループ	15	笛 川 和 男	〃 住吉町2592 笹川和男方	22-2543	951
	むささび会	48	五十嵐 喜 明	〃 本間町2-5 鹿野英雄方	23-3267	〃
	新潟市水道局山岳部	20	横 山 雪 男	〃 関屋下川原町 水道局内	66-9311	〃
	新潟山岳会	28	森 田 健	〃 沼垂東3~2~5 森田健方	44-7089	950
	ピオレの会	16	小 熊 英 雜	〃 沼垂東1~6 行田謙司方	44-0444	〃
	ベレーモンターニュー	14	濁 川 浩	〃 春日町東1 濁川浩方	45-4628	〃
	三菱化学山岳部	30	遠 山 博 明	〃 松浜町3500 三菱化学内	59-3111	951-31
	越稜山岳会	25	今 成 幸 雄	〃 鎧501 今成幸雄方		950
	臨港海陸山岳部	30	五十嵐 義 雄	〃 臨港町2 社員クラブ内	73-4040	950
区	かたくり	8	大 川 サチ子	〃 西堀通3~790 大川サチ子方	28-1512	951
	新潟交通山岳部	19	鈴 木 義 雄	〃 万代1-5~1 新潟交通内	44-2111	950
	新潟大学医学部看護学校山岳部	10	猪 俣 信 市	〃 旭町通1 新大梓栖寮内	23-6161	951
	国鉄新潟管理局山岳部	40	古 川 文 男	豊栄市葛塚3224 古川文男方	呼 7-2220	950-33
	巻岳友会	20	近 藤 喜代司	西蒲原郡巻町3区 八木沢方	2-2168	953
上越地区	巻ハイキングクラブ	38	菊 地 誠	〃 巷甲区2984~1 菊地誠方	2-3624	〃
	弥彦山岳会	35	花 井 馨	〃 弥彦村 弥彦郵便局内		100 959-03
	越後吉田山岳会	22	堀 川 正 路	〃 吉田町上町 堀川洋裁店内	3-2632	959-02
	佐渡山岳会	40	村 川 経一郎	佐渡郡真野町役場 志和良一方	5-3111	952-03
	糸魚川山岳会	19	石 田 国 夫	糸魚川市大町 市役所商工観光課内	600	941
中越地区	直江津山岳会	53	内 藤 修	上越市五智4の8~10 内藤修方	2-1936	942
	高田ハイキングクラブ	95	横 田 利八郎	上越市石沢 横田利八郎方	3-4676	943
	柏崎山岳会	38	大 倉 祯	柏崎市東本町1 青木スポーツ店内	2-2879	945
	柿崎山岳会	33	伊 藤 政 治	柿崎町2区 伊藤政治方		2808 949-32
	妙高高原山岳会	72	長 崎 達 男	妙高高原町役場内	6-3131	949-21
北越地区	電気化学さわがに山岳会	10	小 野 健	青海町相生町8 小野健方		3111 949-03
	頸城山稜会	44	石 田 昭 夫	上越市中央町3-8-4 石田昭夫方	2-2040	942
	長岡ハイキングクラブ	482	室 賀 輝 男	長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方	32-0428	940
北越地区	長岡山岳会	45	畔 上 次 郎	〃 日赤町1~5~22 畔上次郎方	32-7275	〃
	北越製紙緑星山岳会	40	岸 兵 角	〃 藏王町3-2-1 北越製紙内	35-0630	〃

地区	山 岳 団 体 名	会員数	代 表 者	連 絡 事 務 所	TEL	郵便番号
中 越 地 区	津上製作所山岳部	53	水野誠治	長岡市東藏王1-1-1 製作所内	35-0850	940
	登攀同志会	15	八木下惇夫	△ 旭町2-2-1 ヨーデル方	33-1784	△
	長岡残雪クラブ	20	永井武夫	△ 西藏王2丁目6~12 永井武夫方	3-0636	△
	柄尾山の会	48	佐藤高志	柄尾市東町 浜久クリーニング店方	2-2482	942-02
	見附山岳会	19	大石裕市	見附市本町1-9-41 伊勢屋方	2-0649	954
	今町山の会	14	佐藤晴夫	△ 今町郵便局前 佐藤晴夫方	274	954-01
	秀峰山岳会	63	箕浦三郎	三条市八幡前 望月力方	2-0819	955
	三条駒草山の会	39	栗山直樹	△ 東新保 内山鉄太郎方	2-3090	△
	三条岩峰山岳会	36	近藤吉昭	△ 一ノ木戸仲町 近藤吉昭方	2-3305	△
	燕山岳会	43	大岩義雄	燕市八王子川前47 霜鳥康夫方	3-4811	959-12
北 陸 地 区	下田山岳会	19	長谷川悌二	南蒲原郡下田村役場 藤井気付	鹿峰 40	955-01
	加茂山岳会	43	近藤仁一	加茂市駅前通り 近藤仁一方	2-0977	959-13
	新潟コンパーティー加茂工場山岳部	37	五十嵐進	△ 下条エコンパーティー加茂工場内	2-1500	△
	奥只見山岳会	22	佐藤広文	北魚沼郡小出町 岩越電力所内	990	946
	小千谷山岳会	47	濁川仁	小千谷市寿町 市役所清水繁昭方	7-8643	947
	十日町山路野会	40	滝沢信一	十日町市本町6-1 根津芳雄方	3746	948
	湯沢町山岳会	20	高波隆一	南魚沼郡湯沢町 公民館内	4-2460	949-61
	山岳研究会	15	南雲克良	△ 湯沢町役場内	4-3451	△
	塩沢山岳会	32	曾根義一	△ 塩沢町 △	2-0250	949-64
	堀之内山の会	22	角屋光雄	北魚沼郡堀之内町役場内	1	949-74
東 北 地 区	川口山の会	20	森山正夫	△ 川口町川口 目黒忠夫方	140	949-75
	津南山岳会	35	高橋一夫	中魚沼郡津南町役場内	大割野 130	949-82

下 越 地 区	龜田山岳会	36	小泉喜重	中蒲原郡龜田町中町 立川重衛方	81-2003	950-01
	豊栄山岳会	32	唐橋全	豊栄市葛塚3312 白新堂方	7-3318	950-33
	山村上山岳会	27	早津邦俊	村上市大町 村上市役所内	2111	953
	小須戸山岳会	23	木村裕三	中蒲原郡小須戸町4区 木村裕三方	45	956-01
	下越山岳会	49	佐久間惇一	新発田市諏訪町2-2-1 佐久間惇一方	2-2624	957
	越後ハイキングクラブ	57	富山昇	新発田市豊町3 新発田財務事務所内	2-5111	957
	菅名山岳会	20	大河原昭二	五泉市郷屋川1-1-8 五泉市役所内	2-3911	959-16
	五泉山の会	18	樋口昭	五泉市東本町1-2-10 樋口昭方	2-2509	959-16
	矢筈山岳会	38	白川勇	村松町秋葉 梅田方	2-3475	959-17
	山村松山岳会	11	笠原藤七	中蒲原郡村松町仲町 笠原藤七方	6017	959-17
中 条 川 東	中条山の会	40	五十嵐力	北蒲原郡中条町東本町5~54 五十嵐力方	3-3201	959-26
	関川村山の会	29	平田大六	岩船郡関川村小見 平田大六方	下関 245	959-32
	蒲原ハイキングクラブ	20	大江勝広	東蒲原郡津川町三郷21805~1 佐商方	津川 3084	959-43
	日揮化学鎌山岳会	13	北濃義弘	新津市滝谷本町1-26 日揮化学内	2-3811	956

新潟県高体連登山部60校 関谷正次 新発田市豊町 新発田高校内 2-2008 〒957

上越 高田高校、高田工校、柏崎高校、柏崎常盤高校、安塚高校、直江津高校
直江津工校、糸魚川高校、糸魚川商工校、柏崎工校、高田高校、高田農校

中 越	長岡高校、長岡大手高校、長岡商校、長岡工校、中越高校、長岡女校、長岡農校 三条高校、三条東校、三条商校、三条工校、小千谷高校、小千谷西校、六日町高校 十日町夷校、加茂高校、加茂農校、加茂暁星高校、塩沢商工校、小出高校、西越高校
--------	---

新潟高校、新潟工校、新潟商校、新潟中央高校、新潟南校、白山高校、北越商校、鏡ヶ岡高校、新潟青稜高校
新発田高校、新発田商工校、新発田農校、新津高校、新津工校、水原高校、中条高校、五泉商校、村松高校
津川高校、巻高校、巻農校、興農館高校、吉田商校、村上高校

佐渡 佐渡高校、羽茂高校、両津高校

- 会に変動の際は速かに事務局までお知らせ下さい。

第三回新潟県山岳遭難

救助指導者講習会報告

山岳遭難を未然に防止するための対策、指導、訓練であるが、不幸にも遭難事故が発生した場合に迅速且つ適切で、しかも安全な救助体制を普段から確立強化を図ることと共に、広く県内関係機関が各々の担当部門で非常災害に対処できる実技の訓練、相互の技術交流を通じて知識と技術の体得に努め県民各層に対し山岳遭難防止と非常災害の心得について啓蒙を行なう目的で行なつてきた標記講習会も度を重ね今年で第三回目を迎えた。担当山岳会は下越地区中条山の会で黒村川胎内平(本年五月全国植樹祭会場地)の県立スポーツハウスを中心会場として、県内山岳団体、県当局、空陸自衛隊等の会で三百名が参加して第一日目は、日山協の小島六郎先生の講演、県警・県当局から県内山岳遭難の実態報告があり、航空自衛隊の遭難者の生存法、陸上自衛隊の遭難者救急法、日本岳会越後支部長、藤島玄氏の講話新山協委員、室賀輝男氏の新山協遭難救助体制の確立についての具体的な発表があつた。第二回本講習会の記録映画「白い世界の赤十字」その他の上映で終る。第二日目は、六班に分散して近くの雪山に入り、各班共通課題「雪山に於て大脛骨々折の遭難に

幸運にも遭難事故が発生した場合に迅速且つ適切で、しかも安全な救助体制を普段から確立強化を図ることと共に、広く県内関係機関が各々の担当部門で非常災害に対処できる実技の訓練、相互の技術交流を通じて知識と技術の体得に努め県民各層に対し山岳遭難防止と非常災害の心得について啓蒙を行なう目的で行なつてきた標記講習会も度を重ね今年で第三回目を迎えた。担当山岳会は下越地区中条山の会で黒村川胎内平(本年五月全国植樹祭会場地)の県立スボ

ーツハウスを中心会場として、県内山岳団体、県当局、空陸自衛隊等の会で三百名が参加して第一日目は、日山協の小島六郎先生の講演、県警・県当局から県内山岳遭難の実態報告があり、航空自衛隊の遭難者の生存法、陸上自衛隊の遭難者救急法、日本岳会越後支部長、藤島玄氏の講話新山協委員、室賀輝男氏の新山協遭難救助体制の確立についての具体的な発表があつた。第二回本講習会の記録映画「白い世界の赤十字」その他の上映で終る。

下山後は附近の雪原で大型ヘリコプターのスノーボートやバケット吊輪その他の器材による吊上救助の実演がなされた。
終了後、反省会が設けられ、次の点が反省点として挙げられた。
(一) 越後は上、中、下越と新潟地区に分けられた広大な県で一泊二日の日程では、実質的な行動時間が制限されるので、講習会の内容を絞つて集中的に運営出来ないものか。
(二) 主催者側で自由にならないヘリコプターを傍観するだけではどうか。
(三) その他の問題も山積しているので、一つ一つを解決していくのも重要なテーマであろう。

以上担当山岳会として簡単に報告しておくる。
文責 五十嵐 力
四十六年度、分担金
未納の加盟団体への
お願い

最近、通信、印刷費等の値上がり甚しいものがあります。今後の運営に支障をきたしますので至急事務局へお納めていただきたくお願いいたします。

印刷所 勉天野印刷
新発田市東新町

紀行と隨想

わが越後の山

¥ 2,500円

新潟県の山を愛し、より深く知ろうとする人々にとって、必携の手引書ともいえよう。珍しい写真も豊富で興味深い。

日本山岳会越後支部長 藤島 玄

本協会のリーダークラスの会員が、それぞれの特徴を生じて、ユニークな行動の記録を綴り、越後の山の特質を浮彫にしている。

新潟県山岳協会会長 五十嵐 篤雄

発行所 学生書房 新潟市営所通1
TEL (0252)22-9870 振替 新潟 849番

新潟峡彩山岳会

会報 岳神 11号

額価 600円
元 150円

申込 新潟市営所通1
学生書房内
TEL 229870
新潟峡彩山岳会

読書は万能の基

良書信用買入

学 生 書 房

新潟市営所通1 TEL 229870

峡彩山岳会推薦

登山・スキーポイント製造販売

若井商店

奈良県磯城郡三宅村但馬
TEL (箸尾) 414

見本あり 新潟峡彩山岳会事務所に相談
下さい。(新潟市営所通1)
TEL 0252 229870